

河内小だより

平成23年2月22日 No. 46

薬物乱用防止教室

2月9日(水)6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を、講師として広島県健康福祉局保健医療部薬務課の平岡一貴専門員を迎えて開きました。難しい言葉がたくさんあるのですが、普通の薬は効く作用(正作用)がほとんどで副作用が少しあるが、薬物はほとんどが副作用で、使い方を誤るといろいろな害を自分の体に及ぼし、人にも危害を加えるようなこともあるという話から始まり



ました。いったん使い始めると何回も使い、乱用につながりやすいのでとても危険です。「1回の過ちが一生取り返しのつかないことに・・・」「薬物乱用の誘惑は、あなたの近くにも忍び寄ってきています。」後悔をしないためにも、日頃から子どもたちの様子に気を配っておきたいものです。



フレンドタイムの様子

2月8日(火)に行われたフレンドタイムの様子です。今回は全部の班が長縄を使った活動でした。長縄を使つての運動は、いろいろなことが考えられますが、1年生から6年生までが、同時に活動することは難しいものです。特にリーダーの高学年の働きがとても重要です。同時に跳ぶための声掛けや、跳ぶタイミングの指導など、自分のことだけでなく、根気強く教える

ことのできる優しさも必要です。フレンドタイムでどれだけリーダー性が育ったのか考えさせられる場面も見られ、コミュニケーション力の向上の難しさを思います。



〈学校教育に関するアンケートのお礼〉

「学校教育に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。年度末の反省及び次年度への計画の参考にさせていただきます。「心の教育」と、個人情報の問題が叫ばれている中で、学校の情報をどれだけどのように公開できるのか、難しさを乗り越えていくことの大切さを感じています。平成23年度は、新指導要領の完全実施の年となり、週5日制の中で授業時数の確保も更なる工夫が必要になります。風水害やインフルエンザ等の臨時の休校がないことを祈りつつ、日課表の工夫が求められています。